

がないならば、彼等は永久に貨銀奴隸制を是認するであらう。

貨銀値上運動にのみ没頭してゐる愚かなる労働者よ。そして労働運動者よ。諸君は先づ労働運動の目的が労働條件の改善に非ずして貨銀奴隸制度の廢止にあるといふことを知らねばならぬ。而して更に労働者の精神的地位の改善は、物質的地位の改善より、より重要なものであり、これに成功せざれば永久に眞の目的を達することが出来ぬといふことを悟らねばならぬ。

△貨銀奴隸なき世界

貨銀奴隸の廢止せられたる世界を想像せよ。

そこには労働の苦痛がなくて創造の喜悦があるのみである。労働

者が巨額に行つて働くのは、印度書家が、アトリエにあつてカンバスに向ふ様な心持ちになる。労働はこゝに藝術化せられて、彼は歡喜と希望に満されて、ボール板に向ひ、ハンマーとヤスリとを振ることが出来る。

再び貨銀奴隸制の廢止せられたる世界を想像せよ。

そこには何等労働の掠奪行為はれず、餘剰價値が成立せず、文化價値の創造者と享有者は、渾然として一體となり、彼は眞に意義あり、光榮ある生涯を送ることが出来るであらう。

三度び貨銀奴隸制度の廢止せられたる世界を想像せよ。

そこには我利的な所有衝動は陰を絞め、社會連帶の思想、相互扶